C-14

盛岡市

岩手大学ものづくり エンジニアリングファクトリー「学内カンパニー」

#ベンチャー　#社会貢献　#地域企業との連携　#まちづくり

学内カンパニー活動は、H21年度からH25年度までの5年間にわたる教育改善プログラムとして文科省から予算措置され、H26年度から岩手大学の自主運営事業として継続されている教育改善プログラムです。令和元年度は4つのポイントに着目して進めます。

・ベンチャー立ち上げにも繋がりうる実践的な取り組み
・事業性に富み、地域性、社会貢献性が高い取り組み
・地域企業等との連携によるものづくり、製品開発
・先端理工学、地域創生特別プログラムの活動をベースとしたものづくり、コトづくり

学内カンパニーには責任者（教職員、学生）、社員（院生、学生）、インターン生（学生）がおり、上位の人は部下に対してプロジェクト組織の運営、監督、教育を行います。この過程で学生は技術だけではなく、教育することやされることの中で目標を達成することを身に付けます。平成21年から始まった学内カンパニー活動は学内外から高い評価をいただき、岩手県の内外を問わず他大学や行政機関などからの見学、紹介依頼を多くいただいています。これからも一層の充実をはかり、社会人力豊かな学生の輩出に務めていきます。

＜本年度の活動成果の例＞　・肴町商店街活性化プロジェクトへの参画（学内カンパニー製品のワゴン販売）・ウニ染めハンカチの展示販売（ひろの町水産会館）・スピードスケートブレード研磨システムの開発・盛岡市ごみ収集アプリの開発　など